

新潟大学教職大学院

にいがた教育フォーラム

2018
in July

様々な立場の方と集い、教育や子どもについて語り合い、ともに学び合ひましょう。

平成三十年七月二十八日（土）
新潟大学五十嵐キャンパス教育学部棟

【シンポジウム】

教員のキャリア形成に関わる

教職大学院の役割と教育委員会との連携

―教員育成指標をどう活かす？―

プログラム

【受付】12:30 ～ @教育学部棟正面玄関

【挨拶】13:00 ～
@教育学部E棟1階大講義室

【シンポジウム】13:10～15:00

登壇者：

新潟県教育委員会義務教育課参事 阿部 勉 様

新潟市教育委員会学校人事課長 池田 浩 様

新潟大学大学院教育学研究科長 宮 蘭 衛

コーディネーター：同副研究科長 小久保 美子

【ラウンドテーブル】15:15 ～16:45
@教育学部B棟

6つの分科会を開催

*詳細は2～3面参照

【情報交換会】17:00 ～19:00
@キャンパス内第2食堂（予定）

にいがた教育フォーラム参加者による情報交換会

※プログラム詳細は下記ホームページに随時掲載いたします。

定員

300名（参加費無料）

※ただし懇親会参加費は3000円（当日お預かりします）

資料等の準備の都合上、申込み方法をご確認の上、
7月6日（金）までにお申し込みください。

（事前申込みがなくても参加は可能です）

申込・お問い合わせ先

新潟大学大学院教育学研究科教育実践開発専攻

〒950-2181 新潟市西区五十嵐二の町8050

E-Mail: kyousyokudaigakuin@ed.niigata-u.ac.jp

TEL: 025-262-7227(中島)

FAX: 025-262-7170

URL: <http://www.ed.niigata-u.ac.jp/kyousyoku/>

検索

（新潟大学教職大学院でご検索ください）

後援：新潟県教育委員会（申請中）
新潟市教育委員会（申請中）



本フォーラムにおける「ラウンドテーブル」

興味・関心に応じて集まり，少人数でテーブルを囲みます。メンバー（話題提供者，参加者，ファシリテーター）は，話題提供者の方の話をきっかけに，教育に関わる実践や悩みを聴き合い語り合います。

話題提供者

ファシリテーター



参加者

互いの実践に学び，自分の実践に生かそうとする活動です。教育関係者はもちろん，教育に興味がある方であれば，どなたでも参加できます。さまざまな立場の方々と知り合うチャンスです。



- ・久しぶりに本当に語り合えた気がします。
 - ・自由な感じに話することができて，とてもよかったです。
 - ・提案内容の質が高く，課題が焦点化されていたことで，意見交換が深まり，とてもよい学びとなりました。
- （7月のフォーラムのアンケートより）



「ラウンドテーブル」の進め方と特徴

① 自己紹介

名前、所属、担当、興味関心のあるキーワードや参加目的などについて簡潔にお話してください。

② 話題提供

話題提供者から、実践を5～10分程度紹介いただきます。

③ 対話と傾聴

話題提供の方のお話し、あるいは、自己紹介をきっかけに、参加者それぞれの実践や悩みを語り合い、それらを傾聴します。

どなたからお話しいただいてもかまいません。

④ 終わり方

時間になったら、それぞれのグループで終了になります。

◆実践の展開を自分の言葉で語り、互いの考えに耳を傾け、対話を通して新たな気づきを得ることを中心に据えます。

- ・語り手は、実践の歩みを振り返り、自分が考えていること、大事にしていることを、自分の言葉で語ります。
- ・聞き手は、語り手の語りを自分の世界から評価するのではなく、語り手の話を丁寧に聞きながら、語り手の実践に寄り添いながら聞いたり、語ったりします。
- ・互いの違いを尊重した上で対応を重ねる対話を通して、各自の課題に対する新たな気づきを得たり、方策をとともに考えたりします。

◆ラウンドテーブルの参加者は、学び続ける教師コミュニティの成員として対等ですので、互惠的・双方向的なかかわりを大切にします。

- ・様々な立場の方が参加しています。それぞれの異なる立場・役割から交流することで、互惠的な関りが生まれます。
- ・「指導する－される」、「評価する－される」という一方向の関係ではなく、教育についてともに考え、学び続ける双方向的な関係です。

ラウンドテーブル 分科会の内容

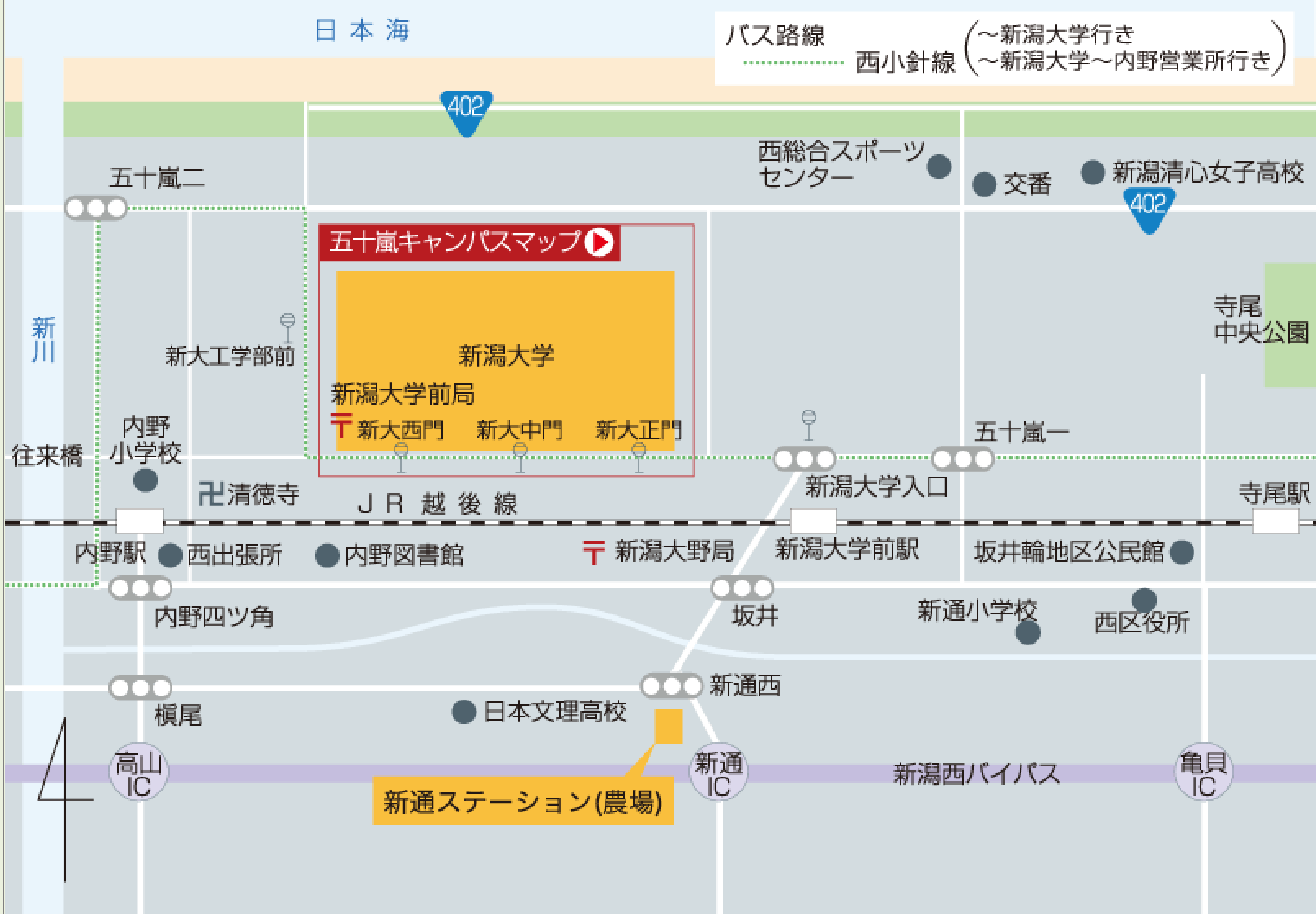
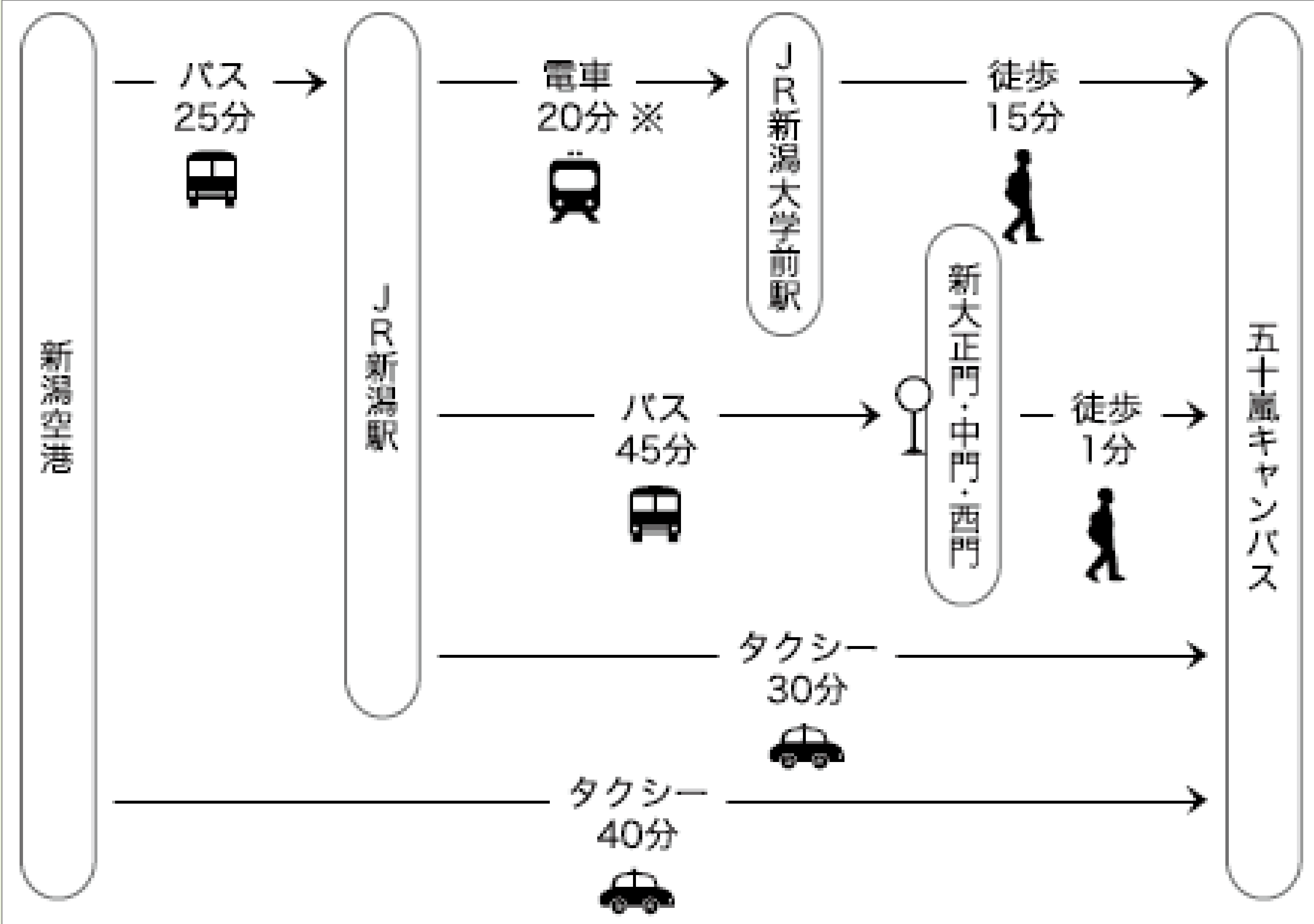
＊少人数でグループを作り，以下のキーワードを手がかりに，互いの実践や悩みについて聴き合い，語り合います。

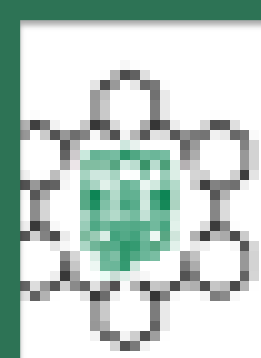
分科会	キーワード
1 教育課程編成	①社会に開かれた教育課程，②カリキュラム・マネジメント，③各教科等横断（各種教育等），④異校種間連携，⑤一貫教育（幼保・小・中・高），⑥その他
2 授業づくり	①教科の本質（見方・考え方），②資質・能力，③一人一人の学び，④教材，学習課題，⑤対話，協働，⑥問題解決，⑦その他
3 生徒指導・教育相談	①道徳教育の充実，②いじめ，問題行動，不登校，③ソーシャルスキル，④関係機関やカウンセラーとの連携，⑤キャリア教育，⑥子どもの発達理解，⑦その他
4 学年・学級経営	①人間関係づくり（教師と子ども，子どもと子ども），②学級・学年活動（話し合い，ルール作り，自治的活動等），③社会性の育成，④開かれた経営，⑤その他
5 学校経営	①チーム学校（協働性，同僚性等），②組織マネジメント，③研修・研究の充実，④地域連携・協働，⑤コミュニティ・スクール，⑥社会の変化への対応，⑦その他
6 特別支援教育	①インクルーシブ教育システムの構築，②学習参加のための工夫，③自己理解と就労支援，④多職種・他機関連携，⑤早期発見・早期対応，⑥その他

ラウンドテーブル 話題提供をしてくださる方を募集します！

- 話題提供の方の話をきっかけに，小グループの参加者みなさんで，実践や悩みを聴き合います。
ご自分の実践や悩みについて話してみませんか。
- 話題提供をせず、メンバーとしてのみの参加也大歓迎です。
- 話題提供の1人あたりの時間は，5～10分程度です。話題提供者の方のお話しも含めて、ラウンドテーブル全体の時間は90分程度です。
- 話題提供をしてくださる方は、上記分科会から1つ選択し，関連するキーワードを1つ以上選択して，申込フォームに実践や提案したい内容の要約を書いて提出してください。
- 締め切りは**平成30年7月6日（金）**です。
- A4版1枚程度の資料を10部**作成し，必ず**当日**持参してください。資料は，1部を受付に提出してください。他はラウンドテーブル時に，ご自分のテーブルの参加者に配付してください。

会場のご案内 ＊駐車場に限りがありますので，できるだけ公共交通機関をご利用ください。





申込み方法

- ◆ 新潟大学教職大学院 にいがた教育フォーラムは、どなたでも参加できます。参加ご希望の方は、下記の①～③のいずれかの方法で、お申し込みください。
- ◆ ラウンドテーブル参加希望の方は、参加形態を必ずご記入ください。
- ◆ ご記入いただきました個人情報は、本申込以外には、使用いたしません。
- ◆ **申込締め切りは、平成30年7月6日（金）です。**
ただし、話題提供者としての参加でなければ、当日参加を受付けます。

① E-mail: kyousyokudaigakuin@ed.niigata-u.ac.jp

メールの件名を「にいがた教育フォーラム申込」とし、③と同様の情報を記入して送付ください。

② 右QRコードから申込フォームにアクセス・入力

③と同様の情報の記入が必要となります。



③ FAX: 025-262-7170

A4版のまま下記に記入してください。

*印の箇所は記入必須事項です。選択する場合は、いずれかの□にチェックを入れてください。

*ご所属		*職名	
*ご芳名（ふりがな）		*連絡先 TEL: FAX:	
*参加希望 □にレを入れてください。			
□ シンポジウムのみ		□ シンポジウムとラウンドテーブル	
◆ラウンドテーブルに参加される方			
参加希望分科会番号		話題提供の内容の要約：①にチェックした方のみお書きください。	
*キーワードの記入は不要です。			
参加形態 □にレを入れてください。			
□ ①話題提供をする		➡	
□ ②メンバーとして			
*懇親会 □にレを入れてください。		□ 参加 □ 不参加 受付時に3000円をお預かりします。 当日参加も可能です。	